

17 作文 入試問題に挑戦

組	
番 号	
氏 名	

1

「責任感について考える」という題で、次に示す〈注意〉にしたがい、文章を書きなさい。

〈注意〉

- ① 題名や氏名は書かないで、すぐ本文から書き始めること。
- ② 二段落構成の文章にすること。
- ③ 第一段落では、責任感の大事さを感じた具体的なできごとや体験などを書くこと。第二段落では、それについてのあなたの意見や感想を書くこと。
- ④ 十行以上、二十行以内(一行20字詰め)の文章にまとめること。
- ⑤ 原稿用紙の正しい使い方にしたがうこと。

● 指示された段落数にしたがって書く

解答例

私は、サッカー部のキャプテンだった。そのため、顧問の先生から部室のカギを渡され、部室の開け閉めを任されていた。しかし僕は、二度、そのカギをなくしてしまった。一度目は、先生がスペアキーを貸してくださったので、部室を開けることができた。カギは後から見つかった。しかし二度目の時には、先生はスペアキーを貸してくださらなかった。先生は「責任感がない」と僕をしかり、よく探すようお願いした。部室を開けなければ練習はできない。僕がカギを探している間、部員たちは練習ができなかった。

二度目の時に先生がカギを貸してくださらなかったのは、「責任感」の意味を僕に教えるためだったと思う。僕はこの経験を通して、責任感がなければ他の人に迷惑をかけるということに気づいた。と同時に、責任感がなければ、信頼も失ってしまうと分かった。責任ある行動ができるかどうかは、自分自身に厳しいかどうかの差であるとも感じた。

解説

指示された段落数にしたがって文章を書く場合、すぐに原稿用紙に書かずに、以下のようなポイントに注意して簡単なメモをとってから書くことが大切である。

- 1 指示に合った構成メモを作る。
(例) 題名 自然を守る
- 2 第一段落 体験したことなど (具体例)
第二段落 自分の考え (意見)
- 3 与えられた題名に対し、どのような体験・見聞したこと (具体例) が思い浮かぶか、いくつか書き出す。
- 4 その具体例の中から、いちばん書きやすいものを選ぶ。
- 5 その具体例からどのような自分の考えをもったか簡単にメモする。
- 6 段落と段落をどうつなぐか、つなぎの言葉を考える。
(例) 「このことから……」
- 6 最後のまとめの文章を考えてから、文章を書き出す。

2

あなたが日常生活の中で長く使っている物について、その物とあなたとのかかわりや、あなたがその物を使い続けている感想を、百六十〜二百字で書きなさい。

(平成十一年 宮城県公立高校入試問題より)

解答例

僕は中学校入学の時からずっと同じシャーペンシルを使ってきた。この作文もこれを書いてる。三年間も使ってきたので分身のようない気もする。このシャーペンシルは、母からの入学祝いなのだ。だから母の愛情がこもっているように感じられる。あちこちに細かい傷があるし、友人の持っているものと比べると形もやや時代遅れではある。しかし、僕はこれからの高校生活でもこのシャーペンシルを使うつもりでいる。

解説

- 1 取り上げる物は一つに絞る。
- 2 自分が愛着をもっている物、思い出がある物、何かの記念になっている物などを取り上げるとよい。
- 3 取り上げた物と自分とのかかわりを具体的に書く。(いつごろから使っているのか、自分にとってどんな意味のある物か、なぜ使い続けているのか、どんな気持ちで使っているか、など)
- 4 過去のことばかりでなく、現在のことやこれからのことなども書くようにする。